

# 千年の森便り NO101

## 2012. 02. 23

ちば千年の森をつくる会

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

### 活動の記録

2月19日(日) 晴

参加会員は11名；新井（孝）新井（通）伊藤・甲斐・久我夫妻・根本・福島・松本・真鍋・森。  
この冬一番の冷え込みのなか、落葉期の光環境（相対照度）調査と植物観察・調査、ホテイ竹林整備の予備調査を行いました。



この冬一番の寒さの中、11名の参加



照度調査前に測定器の操作説明



直射日光を遮り照度測定

#### ○相対照度測定

午前中、参加者全員の協力を得て、落葉期の相対照度調査を行いました。測定した箇所は、巨木林のネット内（20m×20m）、同ネット外（10m×10m）、継続して調査しているモミ混じり巨木林、千年広場、ほだ場、ヒメコマツ植栽地など13箇所です。結果は、巨木林のネット内が30地点平均で36%、ネット外が9地点平均で45%、継続調査箇所は18～87%となりました（表1）。

今回の調査は、お天気が良かったために直射日光の影響を受けて測定値のバラツキが大きくなりましたが、落葉期の明るい林内を反映して相対照度は高い値が多くなっていました。（福島）

（表1）相対照度調査結果

| 測定箇所          | 相対照度(%)   |           |           |           |           | 摘要                           |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------------------|
|               | 2009.7.20 | 2010.2.14 | 2010.6.13 | 2011.7.18 | 2012.2.19 |                              |
|               | 着葉期       | 落葉期       | 着葉期       | 着葉期       | 落葉期       |                              |
| 2-7 モミ混じり巨木林  | 0.8       | 12.1      | 0.6       | 2.8       | 18.9      | *ほこら山裏の北斜面<br>**着葉期データは06年9月 |
| 2-13 モミ混じり巨木林 | 8.1       | 49.3      | 8.6       | 3.3       | 47.5      |                              |
| 3-16 シイタケ楯場   | 2.4       | 23.2      | 1.7       | 1.4       | 23.5      |                              |
| 4-16 シイタケ楯場   | 1.0       | 16.7      | 1.5       | 1.0       | 24.1      |                              |
| 千年広場中央        | 23.3      | 65.6      | 18.0      | 18.9      | 61.7      |                              |
| コナラ更新林の苗畑     | 27.1      | 74.7      | 31.8      | 19.3      | 58.9      |                              |
| ホテイチク保護柵横     | 3.9       | 7.2       | 4.8       | 1.1       | 18.2      |                              |
| マダケ保護柵の間      | 16.3      | 21.4      | 13.1      | 8.1       | 22.6      |                              |
| ガマズミ          | 1.3       | 56.7      | 3.0       | 3.7       | 46.1      |                              |
| ヤマユリ保護柵の中     | 9.8       | 69.5      | 5.9       | 3.5       | 49.2      |                              |
| コナラ更新林ヒメコマツ   |           |           | 64.1      | 41.0      | 86.5      |                              |
| 岬ヒメコマツ        |           |           | 57.5      | 54.2      | 86.8      |                              |
| スハマソウ北斜面*     | **1.0     |           |           |           | 19.1      |                              |

## ○植物調査

昨年新たに発見された北側斜面湖岸沿いのスハマソウは足場の悪い木の根元やコケの中で、蕾を持って開花を待っています。ピンクの蕾もあるようです。花を見たい方は3月上旬がお勧めです、3月の定例活動日では遅すぎます。



湖岸のコケにスハマソウ(福島)



厳寒に咲くコセリバオウレン(福島)



急斜面で観察・撮影中の植物班

北斜面のコセリバオウレンは厳寒の落葉の下から花茎を出し、小さい可憐な花を咲かせていました。転落しないよう、急斜面を必死によじ登り、這いずり廻った疲れは、この小さな花に出逢った感激で忘れませんでした。同じ斜面でシャクジョウソウやアキノギンリョウソウの株と朔果を見つけ、これら菌従属栄養植物の仲間が、この森に意外と広く分布していることもわかりました。

コセリバオウレン群落近くの崖に絞り水でできた氷柱(ツララ)がありました。食べて見た福島さんは「良い食感」とのことでした。この光景も豊英島の生物多様性を象徴する光景でしょうか。

この森で激減が心配されていたシュンランは、ヤマユリ保護ネット内に多数株、蕾を膨らませて開花を待っていました。(真鍋)



## ○久しぶりにニホンジカ ツチアケビを食べたのは？

千年広場の近くに設置したセンサーカメラに鹿の画像が10カットありました。昨年の夏から見守ってきたツチアケビの実が無くなっていたので、この鹿が食べた可能性はありますが、証拠となる決定的なシーンは写っていませんでした。カメラの向きがツチアケビから少しずれていた為です。尚、鹿が写っていた日付は12月30日から1月2日までの4日間連続と1月13日でした。鹿は島に泳いで渡ると数日滞在すると思われます。坂本(文)



ニホンジカは夜がお好き？  
2012年1月1日23時30分撮影

## お知らせ

○**絶滅危惧種ヒメコマツの観察と植栽体験**；3月10日、清和県民の森で房総丘陵に自生するヒメコマツの観察と植栽作業が計画されています。実施要領は添付の案内チラシの通りです。会員の皆様の積極的なご参加・ご協力をお願いします。

○**3月定例活動日**；3月18日(日)、県民の森「木のふるさと館」駐車場に9：30集合  
活動内容は●活動報告(『豊英島の自然』の発表・報告) ●ニホンジカ生息調査●ヒメコマツ調査●植物調査●野鳥調査●ホテイ岬森林整備など。

○「**豊英島の自然**」発刊；8人の編集委員の尽力とご支援いただいた先生方のご協力、セブンイレブン記念財団の助成により会の生物多様性を目指す森づくり活動の一環として編集した「豊英島の自然」がほぼ完成しました。会員の皆様には3月18日定例活動日に配布します。

セブンイレブンみどりの基金  
一般財団法人セブン-イレブン記念財団

この活動は2011年度一般財団法人セブン-イレブン記念財団の  
公募助成を受けています